

模擬テストに挑戦

12 日、中間テストに向けての学活を持ちました。初めての定期テストに関して、不安を感じている人も少なくないと思います。学年の先生たちで話し合っ、学活の時間を使って、テスト対策に取り組むことにしました。昨年の 1 年生（現 2 年生）は 4 月からの休校もあり、1 学期の中間テストはできませんでした。今年は実施できます。そのことを有効に活用し、せっかくの機会なので企画してみました。



真剣に模擬テストに取り組む

内容は模擬テストでした。みんなの中には、中間テストにどんな問題が出るかわからないという不安もあるでしょう。この模擬テストが出題の仕方を知る機会にもなるでしょう。今回は英語と社会の 2 教科で行いました。時間は 1 教科 10 分ずつに設定し、ちょっとテストの緊張感も味わわせての実施でした。



サウジアラビアはどこ？

そのあと、それぞれで答え合わせをしました。その際 5 組ではこんなやり取りがありました。社会の問題に「アジアを 6 つに分けたとき、サウジアラビアが含まれる地域名は？」というのがありました。下田先生が「どこだと思いますか？」と尋ねると、結構答えがわかれたようでした。「じゃあ、地図帳で調べてみようか」ということになり、班員同士で地図帳をぺらぺらする光景が見られました。

答え合わせの後は、近くの人でわからないところを教え合ったり、教科書を見直したり姿がたくさん見られました。各クラス、なかなかいい雰囲気いい時間が過ごせていたように思いました。

勉強の仕方アドバイス②

今回の模擬テスト。実はこれは非常に効果の高い学習方法なのです。事前テストという呼び方をすることもあります。このテストで知らない(覚えていない)ことを知ることができます。自分は覚えたつもりになっていても、実際には書き出せないことがよくあります。前回の通信で紹介した入力・出力の話につながります。入力したけど出力できなければ意味がないというのはこういうことです。テストは出力の練習、検索の練習ともいえます。記憶があいまいだったことに気づくとどうするか？多分もう一度自分で調べようとするはずです。先に紹介した地図帳でサウジアラビアを探したように…。そうやって覚えた事柄が記憶としては強化されるようです。5 組は非常にいい勉強ができていたこととなります。事前テストは、実施後答えをすぐに確認すると、さらに効果が高まるようです。今回は間違ってもかまいません。逆にそのことが次への学習の意欲や効率にもつながるくらいですから。

勉強は、出力を中心に考えることです。今回の事前テストもその一つです。自分で問題を作って、やってみる。これを自己テストと言います。これもいい方法です。休み時間などに友達同士で問題の出し合いっこすることもいい方法です。少しでも参考になれば…。

今日は金曜日。英語で言うと…。模擬テストに出題されてましたよ。もう 1 問、5 月を英語で言うと…。